

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境 ・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5			利用定員の適切化を常に意識して運営を行っている。
	2	職員の配置数は適切であるか	5			職員の配置数は適切である。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		4	1	バリアフリーの配慮は完全ではないものの一定の配慮はされている。今後も改善していきたい。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5			適宜ミーティングを行い、PDCAサイクルを意識できているが、より一層の浸透を図ってきたい。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5			保護者等向け評価表はもちろん、平日頃から保護者様のご意見に耳を傾け業務の改善につなげている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5			公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			5	第三者評価は行っていない。今後検討していきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5			研修の機会は十分確保できている。
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			保護者様や利用者様との面談を行い、ニーズや課題の把握をしたうえでの作成を行っている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5			アセスメントツールの使用はできているが、よりよい改善を今後も行っていきたい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5			活動プログラムは管理者や企画担当の元でチームで行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	2	3		利用者様によっては一部固定化しているものもあるが、時期や季節に応じて変化を取り入れている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5			平日や休日ならではの課題の設定を行い支援を行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			個別活動と集団活動の組み合わせは常に行っており、計画作成もできている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	2		支援の役割が固定化されている状況がある。どの職員も対応できるように打ち合わせを行ってきたい。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	1		送迎終了後その日の振り返りが難しい場合は翌日の朝からミーティングで共有を行っている。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			支援記録は記録の書き方の研修も行い取り組んでいる。また、上手くいかなかった事例はミーティングで取り上げて検証し改善につなげている。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5			定期的なモニタリングは行えている。また、評価からの見直しの必要性も判断し共有ができてい
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	5			ガイドラインに記載されている基本活動のA～Eを複数組み合わせ合わせた支援を行えている。今後は5領域を意識しながら支援を行いたい。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5			児童発達支援管理責任者を中心に積極的な参画が行えている。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5			学校との情報の交換や共有は行えている。ケース会議への参加や時間割変更のやりとりも行えている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			5	医療的ケアが必要な利用者様は現在いらっしゃらない。利用される場合は密な連絡体制を整えた
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		5		新1年生が以前利用されていた児童発達支援からの申し送りや引継ぎの機会は確保できている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	2		今回学校卒業後の障がい福祉サービスを受けられる方がおられたが、ケース会議等を含めて情報の提供を行えている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		5		今年度は助言を受ける機会が少なかった。改定もあり連携が重要視されているので連携を進めていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			5	学童や児童館のお子さんたちと交流する機会は確保が難しかった。どう機会をつくっていくかを検討していきたい。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	5			児童発達支援管理責任者を中心に積極的な参加が行えている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			保護者様とは常日頃から状況の伝え合いや課題の共通理解が行えている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		5		ペアレントプログラムの講習を受けたり、上手くいった支援内容の報告や具体的な支援方法の提示は行えている。
保護者への説明責任	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			保護者様との面談の機会に時間を設けて行えている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5			相談内容に応じて必要な助言や支援が行えている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		4	1	保護者会の日程調整などの難しい側面があった。保護者同士のつながりができるような活動を検討していきたい。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			職員から管理者への報告は発生時すぐに義務付けており遵守されている。また管理者からの対応も迅速に行えている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5			毎月1回配布を行っている。また、日々のやり取りは連絡帳を活用している。Instagram等SNSの活用もできている。
	35	個人情報に十分注意しているか	5			鍵付きの棚での情報の保管が行えている。またシュレッターによる破棄を徹底している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			毎日の送迎時や連絡帳の活用を通じた情報伝達の配慮ができている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			5	地域住民を招待できるような活動は行えていない。障がいの特性への理解の促しも含めて今後検討していきたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		5		マニュアルの策定は行えているが、状況の変化に応じて更新ができるような体制を今後も整えていきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5			定期的な実施が行われている。今後も継続していきたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5			研修の機会は十分確保できている。今後も研修の内容を充実させたい。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5			身体拘束については、契約の際に説明を必ず行い同意書をいただいている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		5		正しく対応できているが、医師の指示書に基づく対応というよりも親さんに情報を得ていることが多い。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5			日報に残しており、職員で振り返りや対応策が共有できるようにしている。